

第 3 部 資料編

【様式1】

静岡市学生スクールボランティア募集一覧表掲載依頼

平成 年 月 日

静岡市立 園・学校

下記のとおり掲載願います。

↓優先度の高い順に記入してください。

記号	内容	所在区	学校名	期間	時間帯	人数	必要とする資格等	連絡先電話番号(担当者)

<留意事項>

●各園・各小中学校ごと優先度の高い順に記入してください。(掲載見本を参照してください。)

- 1 「募集締め切り願い」(様式2)があるまで登録時と同じ様態で掲載します。
- 2 静岡市教育委員会ホームページ上の更新は、月末ごとを予定しています。
- 3 本依頼は、学校教育課企画管理担当あて電子メールにて申し込むこととします。
学校教育課メールアドレス: gakkyo@city.shizuoka.lg.jp

●記号のらんには以下のア～ケの記号を入れてください。

- ア コンピュータ学習や理科実験など特別な技能を必要とする教科指導の補助
- イ ア以外の教科指導の補助など
- ウ 通常学級における特別な教育的支援が必要な児童生徒への補助
- エ 特別支援学級における障害のある児童生徒の学習・学校生活への支援
- オ 外国人児童生徒の学校生活における相談、コミュニケーション支援・通訳
- カ 放課後における児童生徒の学習相談・遊び
- キ 図書の読み聞かせ・学校図書館の運営補助
- ク 部活動・校外教育活動の補助など
- ケ その他

静岡市学生スクールボランティア募集一覧表掲載依頼

見本

↓優先度の高い順に記入してください。

時間以外はすべて全角で記入してください。

記号	内容	所在区	学校名	期間	時間帯	人数	必要とする資格等	連絡先電話番号(担当者)
オ	外国人生徒のコミュニケーション補助	清水	清水駿河小-1	通年	随時	2人	ポルトガル語ができる方	200-**** (教頭)
イ	教科指導の補助(国語・算数)	清水	清水駿河小-2	4月～12月	午前	5人		200-**** (青井)
ア	高学年理科実験の準備補助	清水	清水駿河小-3	9月～12月	午前	1人	理科実験が好きの方	200-**** (教頭)
ア	英語学習活動の指導補助	清水	清水駿河小-4	週2回程度	応相談	3人	英会話ができる方	200-**** (教頭)
キ	図書館運営の補助	清水	清水駿河小-5	通年随時	応相談	1人		200-**** (教頭)
ク	放課後活動指導補助(サッカー)	清水	清水駿河小-6	火・水曜日	9:00～15:30	2人	経験者(男性)	200-**** (安倍)
ク	低学年校外活動の補助	清水	清水駿河小-7	5月未定	午前	5人	子どもが好きの方	200-**** (教頭)
ケ	学校にボランティアとして登録し様々な内容	清水	清水駿河小-8	通年随時	都合の良い時間	何人でも		200-**** (教頭)

【記入上の注意】

学校の優先順位を記入してください。

■ 優先度の高い順に記入する。

- 1 「記号」欄は、右の支援活動の分類(ア～ケ)のうち、該当する記号を記入する。
- 2 「内容」は、概要が分かるように記入する。
- 3 「期間」「時間帯」は、例示のように募集時に決定している範囲で記入する。
- 4 「必要とする資格」等は、必要があれば記入する。
- 5 「連絡先」は、学校電話番号を記入する。担当者は、原則として教頭とするが、教頭以外が担当する場合は()に担当者名を記入する。
- 6 各校からの掲載依頼については、記号等別にソートして一覧表を作成するので、「//」等の表示をせず、すべて記入する。

■ 記号のらんには以下のア～ケの記号を入れてください。

- ア コンピュータ学習や理科実験など特別な技能を必要とする教科指導の補助
- イ ア以外の教科指導の補助など
- ウ 通常学級における特別な教育的支援が必要な児童生徒への補助
- エ 特別支援学級における障害のある児童生徒の学習・学校生活への支援
- オ 外国人児童生徒の学校生活における相談、コミュニケーション支援・通訳
- カ 放課後における児童生徒の学習相談・遊び
- キ 図書の読み聞かせ・学校図書館の運営補助
- ク 部活動・校外教育活動の補助など
- ケ その他

【様式2】

静岡市学生スクールボランティア募集締め切り依頼

平成 年 月 日

静岡市立 園・学校

下記のとおり募集締め切り願います。

記号	内容	募集締め切り理由

留意事項

- 1 静岡市教育委員会ホームページ上の更新は、月末ごとを予定しています。
- 2 本依頼は、学校教育課企画管理担当あて電子メールにて申し込むこととします。

学校教育課メールアドレス: gakkyo@city.shizuoka.lg.jp

【応募学生 記載欄】

【様式3】

静岡市学生スクールボランティア申請書

私は、下記のとおり「静岡市学生スクールボランティア」に応募します。
活動にあたっては、「静岡市学生スクールボランティアリーフレット」裏面記載の注意事項を遵守することを誓います。

年 月 日

大学	学部	年	学籍番号	
課程・専攻・専修等				
氏名		印	性別	
住所		電話番号		
活動希望校	静岡市立 園・小学校・中学校			
活動希望日(期間)	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日			
活動希望時間	午前・午後 時 分 ~ 午前・午後 時 分			
活動希望内容				

※学生の皆さんは記入にあたり、裏面を参照してください。

【大学窓口 記載欄】（リーフレット裏面の注意事項を確認し、職・氏名を記載の上、捺印願います。）

上記申請を受理する。

年 月 日

大学

職 氏名 印

切り取り線(受入校・園はこの線で切り取り、以下を静岡市教育委員会学校教育課企画管理担当あて送付してください。)

【受入校・園 記載欄】

年 月 日

静岡市学生スクールボランティア採用決定報告

静岡市立

校(園)長

印

上記学生を「静岡市学生スクールボランティア」として下記のとおり採用することを決定しましたので報告します。

については、上記学生の派遣についてご高配くださいますようお願いいたします。

記

採用学生の氏名		性別		大学名	
活動時期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日				
動回数・時間	全 回 (毎日・週 回 () 曜日・月 回・不定期)				
活動時間	午前・午後 時 分 ~ 午前・午後 時 分				
活動希望内容					

※採用が決定した場合、必要事項を記入し、学生を通じて大学窓口へ提出してください。

※コピーを2部取り、1部は学校に保存、1部は切り取り線以下を学校教育課企画管理担当あて送付してください。

静岡県学生スクールボランティアに参加を希望される学生さんへ

- (1) ボランティア活動をしたい内容が見つかりましたら、この申請書の【応募学生 記載欄】に必要事項を記入し、大学の窓口へ申請してください。
 - (2) 大学側の承認が得られましたら、リストに記載されている活動希望校に電話連絡をしてください。その際、スクールボランティア希望である旨を伝え、面接を受ける日時を相談し、決めてください。
 - (3) 活動希望校・園を訪問する際にこの申請書を持参し、面接を受けてください。
 - (4) 受入が決定したら、下段の【受入校・園 記載欄】に記入してもらい、大学窓口に提出してください。
 - ※ 学生さんは、大学窓口に原本を提出してください。
 - ※ 幼稚園・小・中学校は、申請書のコピーを保管します。
 - ※ この用紙は点線で切り離さないようにしてください。
 - (5) 他県の大学生であっても参加可能です。
 - ※申込み手続きは、上記に従ってください。
 - ※リーフレットに書かれている注意事項を守り、活動願います。
- ①大学の学生課等（該当する課）に「静岡県学生スクールボランティア」として活動することについて、申込用紙（学校教育課HPの募集案内からダウンロード「静岡県学生スクールボランティア申請書」：【様式3】）を届け出てください。

あなたの可能性を広げてください



静岡市立の
幼稚園・小中学校で
ボランティアを
始めませんか？



University Student
VOLUNTEERS

学校サポート推進協議会

子どもたちが待っています



●ひとつの挑戦が子どもの喜びに そして たくさんの感動へとつながります



喜び!

「先生！またきてね」
子どもと一緒に
いつも真剣！



こんな活動に
アシスタントとして参加します

- ・各教科指導
- ・理科実験
- ・総合的な学習
- ・運動会
- ・図書を読み聞かせ、学校図書館
- ・放課後の学習相談、あそび
- ・外国人幼児・児童生徒の日本語指導など
- ・部活動指導
- ・コンピュータ学習
- ・特別支援教育
- ・水泳の実技指導

感動!

●ボランティアへの参加があなたの未来を
変えるかもしれません

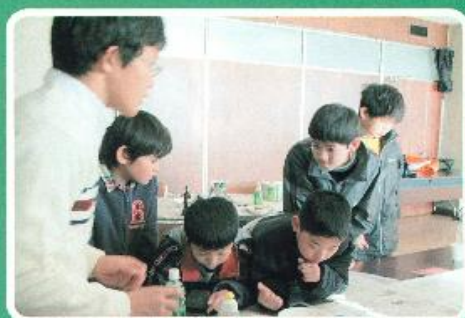
挑戦!

「子どもってすごい！」

子どもの成長の様子を見られます
真剣に取り組む子どもをサポートできます

「先生ってすごい！」

教えるプロの技を身近に見られます
子どもに寄りそう心が感じられます



「教えるって、素晴らしい！」

教える楽しさと責任を
感じることができます



随時募集中!

「学生スクールボランティア」活動までの流れ

●活動を選ぶ



インターネットを使い、
募集案内から
できることを探します



●連絡する



まず、大学に
連絡します



●決定する



つぎに、
幼稚園・小中学校に
連絡します



**活動
開始**

アクセス先：静岡市教育委員会ホームページ
<http://www.city.shizuoka.jp/deps/kyouiku/index.html>
*募集している学校名、期間、仕事内容がわかります。

連絡先：大学 窓口
*学生スクールボランティアの説明があります。

連絡先：市立幼稚園・小中学校（以下、「学校等」とします）
*学校等が、支援活動の説明をします。先着順か、面接によって決定します。
*活動日、時間、内容等の確認をします。



学生スクールボランティア活動に関する注意事項

1 活動全般に関すること

スクールボランティア担当学生は、子どもたちから見れば「先生」です。児童生徒の模範となるように教員同様、言動や服装には十分留意してください。

また、活動を通して知り得た個人情報等は、外部に漏らしてはいけません（守秘義務）。活動終了後も同様です。さらに、体罰や言葉の暴力等の行為は絶対に許されません（体罰等の禁止）。

2 指導に関すること

- 担当教員と支援活動の内容を打ち合わせた上で、教員と一緒に児童生徒に対応してください。
- 教科指導上または生徒指導上わからない内容については、学級担任や教科担任に相談してください。
- 地震発生や不審者侵入等の緊急時は、学校等の指示に従ってください。

3 その他

- 学校等で決められた活動開始及び終了時刻を守ってください。
- 欠席、遅刻、早退をする場合は、事前に学校の担当等に連絡してください。
- 名札（学校等から配付）を着用してください。
- 活動参加時に車、バイク等の交通用具を使用する際は、交通法規を守り、安全運転を心がけてください。
- 教職員や児童生徒へは気持ちのよい挨拶をしましょう。
- 学校敷地内は、終日禁煙です。
- ボランティアとしての活動を越えて、児童生徒と接触することは禁止します。

問い合わせ先

学校サポート推進協議会事務局

静岡市教育委員会学校教育課

〒424-8701 静岡市清水区旭町6番8号

静岡市役所清水庁舎

電話 054-354-2533 fax 054-354-2481

「学生スクールボランティア」 事業に関する調査（学校用）

静岡大学教育学部・静岡市教育委員会

調査ご協力をお願い

この度、静岡大学教育学部では、静岡市教育委員会様のご協力を得て、静岡市の事業である「学生スクールボランティア」における学生の指導・評価システムを構築することで、初期教職生活に必要とされる実践的な指導力の育成を目指す取組を企画いたしました。現在のボランティアの成果や課題、学生が備えるべき資質能力を明らかにし、学生の指導と評価に活かすため、以下のアンケート調査にご協力ください。

なお、結果はすべてパーセンテージを計算するなど統計的に処理しますので、ご回答いただいた個別の内容が漏れることは一切ございません。

まずは貴校の基本的な情報をお教えてください。なお、ご記入いただいた情報は、調査の分析以外には一切使用しません。

・学校名：（ ） ・学級数：（ ） ・回答者の職名：（ ）

本年度の「学生スクールボランティア」の実態についてお尋ねします。

Q 1. 「学生スクールボランティア」の主な受け入れ担当者はどなたですか。あてはまる数字に○をつけてください。

1. 校長先生 2. 教頭先生 3. 教務主任または主幹教諭 4. その他

Q 2. 「学生スクールボランティア」はどなたの要望で募集しましたか。あてはまる数字に○をつけてください。

1. 校長先生 2. 教頭先生 3. 教務主任または主幹教諭 4. 学級担任や教科担任
5. わからない 6. その他（ ） ※その他の場合は、記入願います。

Q 3. 「学生スクールボランティア」にはどのようなことを期待して募集しましたか。あてはまる数字すべてに○をつけてください。

1. 多忙な学校現場における学生の戦力 2. 将来教員となる学生の成長
3. 教育委員会や大学等との連携・協力の促進 4. 地域との連携・協力の促進 5. わからない
6. その他（ ） ※その他の場合は、記入願います。

Q 4. 「学生スクールボランティア」を何人受け入れていますか。数字をご記入ください。

人

Q 5. そのうち、静岡大学の学生は何人受け入れていますか。数字でご記入ください。

人

Q 6. 静岡大学以外で、「学生スクールボランティア」を受け入れている大学・短大の学生はいますか。あてはまる数字すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|------------------------|--------------|------------------|
| 1. 静岡大学 | 2. 常葉大学 | 3. 静岡県立大学 | 4. 東海大学 |
| 5. 静岡英和学院大学 | 6. 常葉学園短期大学 | 7. 東海大学短期大学部 | 8. 静岡英和学院大学短期大学部 |
| 9. その他 (|) ※その他の場合は、学校名を記入願います。 | | |

Q 7. 「学生スクールボランティア」を主にどのように活用していますか。あてはまる数字すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|--------------------|
| 1. 授業における児童・生徒に対する学習支援 | |
| 2. 授業における教員補助 | |
| 3. 授業以外の児童・生徒に対する学習支援（放課後学習支援 等） | |
| 4. 授業以外の児童・生徒に対する指導補助（給食指導、清掃指導、部活動指導 等） | |
| 5. 学校行事等への支援活動（遠足、少年自然の家、運動会 等） | |
| 6. その他 (|) ※その他の場合は、記入願います。 |

Q 8. 「学生スクールボランティア」の主な学生の配属方法はどのようになっていますか。あてはまる数字すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| 1. 特定の学級・学年は決めず、活動内容も決めていない。 | |
| 2. 特定の学級・学年は決めず、活動内容はおおよそ固定している | |
| 3. 特定の学級・学年を決めているが、活動内容は固定していない | |
| 4. 特定の学級・学年を決めており、活動内容もおおよそ固定している | |
| 5. その他 (|) ※その他の場合は、記入願います。 |

Q 9. 「学生スクールボランティア」で募集した活動以外に学生が参加している教育活動はありますか。あてはまる数字すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|--------------------|
| 1. 授業における児童・生徒に対する学習支援 | |
| 2. 授業における教員補助 | |
| 3. 授業以外の児童・生徒に対する学習支援（放課後学習支援 等） | |
| 4. 授業以外の児童・生徒に対する指導補助（給食指導、清掃指導、部活動指導 等） | |
| 5. 学校行事等への支援活動（遠足、少年自然の家、運動会 等） | |
| 6. 校内研修 | |
| 7. 学年会、教科会 | |
| 8. その他 (|) ※その他の場合は、記入願います。 |

「学生スクールボランティア」全般についてお聞きします。

Q10. 「学生スクールボランティア」以外のボランティアを受け入れていますか。あてはまる数字に○をつけてください。

- | | | | |
|---|--------------------|-----------|-------------|
| 1. 受け入れている | | | |
| 受け入れている場合は、どのような人や団体を受け入れていますか。ア～オのあてはまるもの <u>すべてに</u> ○をつけてください。 | | | |
| ア. PTA・保護者 | イ. ア以外の地域住民 | ウ. NPO団体等 | エ. 老人会・婦人会等 |
| オ. その他 (|) ※その他の場合は、記入願います。 | | |
| 2. 受け入れていない | | | |

Q11. 学生が「学生スクールボランティア」を経験することで、以下のA～Jのことを、学生にどの程度期待しますか。それぞれ、あてはまる数字に○をつけてください。

	大いに期待する	ある程度期待する	あまり期待しない	期待しない
A. 学校現場の教師の仕事や組織を知ること ……………	1	2	3	4
B. 学校現場の子どもの様子を知ること ……………	1	2	3	4
C. 教材や教科内容に関する知識や技術を学ぶこと ……………	1	2	3	4
D. 授業での子どもへの支援やかかわりを学ぶこと ……………	1	2	3	4
E. 学校生活全般における子どもへのかかわり方、 生徒指導の方法を学ぶこと ……………	1	2	3	4
F. 特別な支援を必要とする子どもへの対応を学ぶこと …	1	2	3	4
G. 学級経営や行事の運営などの仕方を学ぶこと ……………	1	2	3	4
H. 学校に関わる地域や保護者との関係について学ぶこと	1	2	3	4
I. 社会の中での自己の人間性や、他者とのかかわり等の 人間関係能力を高めること ……………	1	2	3	4
J. 教師としての適性があるかどうかを判断すること ……	1	2	3	4

Q12. 教員を目指す学生は大学卒業時に、まずはどのような資質能力が必要であるとお考えですか。以下の左側のA～Gの資質能力を、大学卒業時に必要であるとお考えの順に右側のカッコ内にならべてください。

<p>A. 教師の仕事の全般の理解 B. 教職に対する熱意や使命感・責任感 C. 授業実践に関する知識や技能 D. 児童・生徒理解および指導・支援に関する知識や技能 E. 学級経営・行事に関する知識や技能 F. 学校に関わる地域や保護者に関する知識や理解 G. 社会の中での自己の人間性や、他者とのかかわり等の人間関係能力</p>	<p>大学卒業時に最も必要である</p> <p>1 番目： () 2 番目： () 3 番目： () 4 番目： () 5 番目： () 6 番目： () 7 番目： ()</p> <p>↓</p> <p>大学卒業時にはあまり重要ではない</p>
---	---

Q13. 今後、学校等での学生ボランティア活動を充実させるためには、募集や実施の方法など、どのような工夫をする必要があると考えられますか。大学、学生、教育委員会に対する要望も含め、ご自由にお書きください。

1. 大学が、実施もしくは工夫すべきこと（大学に対する要望を含む）

2. 参加する学生が、実施もしくは工夫すべきこと（学生に対する要望を含む）

3. 教育委員会が、実施もしくは配慮すべきこと（教育委員会に対する要望を含む）

Q14. 学生ボランティア活動に対してご意見等がおありでしたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

Q 5. 学生が「学生スクールボランティア」を経験することで、以下のA～Jのことを、学生にどの程度期待しますか。あてはまる数字に○をつけてください。

	大いに期待する	ある程度期待する	あまり期待しない	期待しない
A. 学校現場の教師の仕事や組織を知ること	1	2	3	4
B. 学校現場の子どもの様子を知ること	1	2	3	4
C. 教材や教科内容に関する知識や技術を学ぶこと	1	2	3	4
D. 授業での子どもへの支援やかかわりを学ぶこと	1	2	3	4
E. 学校生活全般における子どもへのかかわり方、生徒指導の方法を学ぶこと	1	2	3	4
F. 特別な支援を必要とする子どもへの対応を学ぶこと	1	2	3	4
G. 学級経営や行事の運営などの仕方を学ぶこと	1	2	3	4
H. 学校に関わる地域や保護者との関係について学ぶこと	1	2	3	4
I. 社会の中での自己の人間性や、他者とのかかわり等の人間関係能力を高めること	1	2	3	4
J. 教師としての適性があるかどうかを判断すること	1	2	3	4

Q 6. 教員を目指す学生は大学卒業時に、まずはどのような資質能力が必要であるとお考えですか。以下の左側のA～Gの資質能力を、大学卒業時に必要であるとお考えの順に右側のカッコ内にならべてください。

<p>A. 教師の仕事の全般の理解 B. 教職に対する熱意や使命感・責任感 C. 授業実践に関する知識や技能 D. 児童・生徒理解および指導・支援に関する知識や技能 E. 学級経営・行事に関する知識や技能 F. 学校に関わる地域や保護者に関する知識や理解 G. 社会の中での自己の人間性や、他者とのかかわり等の人間関係能力</p>	<p>大学卒業時に最も必要である</p> <p>↓</p> <p>1 番目： () 2 番目： () 3 番目： () 4 番目： () 5 番目： () 6 番目： () ↓ 7 番目： ()</p> <p>大学卒業時にはあまり重要ではない</p>
---	---

Q 7. 今後、学校等での学生ボランティア活動を充実させるためには、募集や実施の方法など、どのような工夫をする必要があると考えられますか。大学、学生、教育委員会に対する要望も含め、ご自由にお書きください。

1. 大学が、実施もしくは工夫すべきこと（大学に対する要望を含む）
2. 参加する学生が、実施もしくは工夫すべきこと（学生に対する要望を含む）
3. 教育委員会が、実施もしくは配慮すべきこと（教育委員会に対する要望を含む）

Q 8. 学生ボランティア活動に対してご意見等がおありでしたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

「学生スクールボランティア」 事業に関する調査（先生用）

静岡大学教育学部・静岡市教育委員会

調査ご協力をお願い

この度、静岡大学教育学部では、静岡市教育委員会様のご協力を得て、静岡市の事業である「学生スクールボランティア」における学生の指導・評価システムを構築することで、初期教職生活に必要なとされる実践的な指導力の育成を目指す取組を企画いたしました。現在のボランティアの成果や課題、学生が備えるべき資質能力を明らかにし、学生の指導と評価に活かすため、以下のアンケート調査にご協力ください。

なお、結果はすべてパーセンテージを計算するなど統計的に処理しますので、ご回答いただいた個別の内容が漏れることは一切ございません。

まずは先生の基本的な情報をお教えてください。あてはまる数字に○、もしくはカッコ内に数字をご記入ください。なお、ご記入いただいた個人情報は、調査の分析以外には一切使用しません。

- ・性別： 1. 男性 2. 女性
- ・年齢： 1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代
- ・通算の勤続年数： （ ）年目（常勤講師・非常勤講師等の年数も含みます）
- ・本年度の担当学年： （ ）年生（特別支援学級などの場合は空欄で結構です）
- ・過去3年間のボランティア学生の受け入れ経験： 1. 0人 2. 1～2人 3. 3人以上

「学生スクールボランティア」や教員を目指す学生についてお尋ねします。

Q1. 「学生スクールボランティア」を経験することで、以下のA～Jのことを学生にどれぐらい期待しますか。あてはまる数字に○をつけてください。

	大いに期待する	ある程度期待する	あまり期待しない	期待しない
A. 学校現場の教師の仕事や組織を知ること	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
B. 学校現場の子どもの様子を知ること	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
C. 教材や教科内容に関する知識や技術を学ぶこと	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
D. 授業での子どもへの支援やかかわりを学ぶこと	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
E. 学校生活全般における子どもへのかかわり方、生徒指導の方法を学ぶこと	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
F. 特別な支援を必要とする子どもへの対応を学ぶこと	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
G. 学級経営や行事の運営などの仕方を学ぶこと	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
H. 学校に関わる地域や保護者との関係について学ぶこと	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
I. 社会の中での自己の人間性や、他者とのかかわり等の人間関係能力を高めること	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
J. 教師としての適性があるかどうかを判断すること	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____

Q2. 教員を目指す学生は大学卒業時に、まずはどのような資質能力が必要であるとお考えですか。以下の左側のA～Gの資質能力を、大学卒業時に必要であるとお考えの順に右側のカッコ内にならべてください。

<p>A. 教師の仕事の全般の理解</p> <p>B. 教職に対する熱意や使命感・責任感</p> <p>C. 授業実践に関する知識や技能</p> <p>D. 児童・生徒理解および指導・支援に関する知識や技能</p> <p>E. 学級経営・行事に関する知識や技能</p> <p>F. 学校に関わる地域や保護者に関する知識や理解</p> <p>G. 社会の中での自己の人間性や、他者とのかかわり等の人間関係能力</p>	<p>大学卒業時に最も必要である</p> <p>↓</p> <p>1 番目：（ ）</p> <p>2 番目：（ ）</p> <p>3 番目：（ ）</p> <p>4 番目：（ ）</p> <p>5 番目：（ ）</p> <p>6 番目：（ ）</p> <p>7 番目：（ ）</p> <p>↓</p> <p>大学卒業時にはあまり重要ではない</p>
---	---

「学生スクールボランティア」の活動状況や課題についてお尋ねします。

Q3. あなたが本年度に受け入れた「学生スクールボランティア」の活動状況について、あてはまる数字に○、もしくはカッコ内に数字をご記入ください。

・調査時点での学生の受入れ状況： 1. 現在も受け入れている 2. 現在は受け入れていない
 ・受け入れている学生の人数（週単位）： 週（ ）人程度
 ・学生を受け入れている日数（週単位）： 週（ ）日程度（半日の場合は0.5日）

Q4. あなたが本年度受け入れた学生が実際におこなった活動はどのような内容ですか。以下のA～Fのあてはまるアルファベットすべてに○をつけて下さい。

A. 授業における児童・生徒に対する学習支援 →(SQ 1)もお答え下さい。
 B. 授業における教員補助
 C. 授業以外の児童・生徒に対する学習支援（放課後学習支援 等）
 D. 授業以外の児童・生徒に対する指導補助（給食指導、清掃指導、部活動指導 等）
 E. 学校行事等への支援活動（遠足、少年自然の家、運動会 等）
 F. その他（具体的に：)
 (SQ 1) Aとして最も頻繁におこなった活動はどれですか。あてはまる数字1つに○をつけて下さい。
 1. 特定の子どもを対象とした学習支援活動
 2. 特定の学級で様々な子どもを対象とした学習支援活動
 3. 様々な学級を対象とした学習支援活動

Q5. 上記Q4のA～Fの活動で、あなたが本年度受け入れた学生が最も頻繁におこなったものはどれですか。あてはまるアルファベット1つをご記入ください。

Q6. 派遣されている学生との接し方について、以下のA～Cの事柄はどれぐらいおこなっていますか。あてはまる数字に○をつけてください。

	頻繁に おこなっている	たまに おこなっている	あまり おこなっていない	あまり おこなっていない
A. 活動前の打ち合わせ	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
B. 活動中の指示	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
C. 活動後の助言や指導	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____

Q7. 「学生スクールボランティア」にはどのようなことを求めていますか。以下のA～Cについて、あてはまる数字に○をつけてください。

	大いに 求めている	やや 求めている	あまり 求めていない	あまり 求めていない
A. 多忙な学校現場における学生の戦力	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
B. 将来教員となる学生の成長	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
C. 学校現場と大学との連携・協力の促進	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____

Q8. 今後、学校等での学生ボランティア活動を充実させるためには、募集や実施の方法など、どのような工夫をする必要があると考えられますか。大学、学生などに対する要望も含め、ご自由にお書きください。

1. 大学が、実施もしくは工夫すべきこと（大学に対する要望を含む）

2. 参加する学生が、実施もしくは工夫すべきこと（学生に対する要望を含む）

3. その他、実施もしくは工夫すべきこと（要望を含む）

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

「学生スクールボランティア」 事業に関する調査 (先生用)

静岡大学教育学部・静岡市教育委員会

調査ご協力をお願い

この度、静岡大学教育学部では、静岡市教育委員会様のご協力を得て、静岡市の事業である「学生スクールボランティア」における学生の指導・評価システムを構築することで、初期教職生活に必要なとされる実践的な指導力の育成を目指す取組を企画いたしました。現在のボランティアの成果や課題、学生が備えるべき資質能力を明らかにし、学生の指導と評価に活かすため、以下のアンケート調査にご協力ください。

なお、結果はすべてパーセンテージを計算するなど統計的に処理しますので、ご回答いただいた個別の内容が漏れることは一切ございません。

まずは先生の基本的な情報をお教えてください。あてはまる数字に○、もしくはカッコ内に数字をご記入ください。なお、ご記入いただいた個人情報は、調査の分析以外には一切使用しません。

- ・性別： 1. 男性 2. 女性
- ・年齢： 1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代
- ・通算の勤続年数： () 年目
- ・本年度の担当学年： () 年生 (特別支援学級などの場合は空欄で結構です)
- ・過去3年間のボランティア学生の受け入れ経験： 1. 0人 2. 1~2人 3. 3人以上

「学生スクールボランティア」や教員を目指す学生についてお尋ねします。

Q1. 「学生スクールボランティア」を経験することで、以下のA~Jのことを学生にどれぐらい期待しますか。あてはまる数字に○をつけてください。

	大いに期待する	ある程度期待する	あまり期待しない	期待しない
A. 学校現場の教師の仕事や組織を知ること ……………	1	2	3	4
B. 学校現場の子どもの様子を知ること ……………	1	2	3	4
C. 教材や教科内容に関する知識や技術を学ぶこと ……………	1	2	3	4
D. 授業での子どもへの支援やかかわりを学ぶこと ……………	1	2	3	4
E. 学校生活全般における子どもへのかかわり方、生徒指導の方法を学ぶこと ……………	1	2	3	4
F. 特別な支援を必要とする子どもへの対応を学ぶこと ……………	1	2	3	4
G. 学級経営や行事の運営などの仕方を学ぶこと ……………	1	2	3	4
H. 学校に関わる地域や保護者との関係について学ぶこと ……………	1	2	3	4
I. 社会の中での自己の人間性や、他者とのかかわり等の人間関係能力を高めること ……………	1	2	3	4
J. 教師としての適性があるかどうかを判断すること ……………	1	2	3	4

Q2. 教員を目指す学生は大学卒業時に、まずはどのような資質能力が必要であるとお考えですか。以下の左側のA~Gの資質能力を、大学卒業時に必要であるとお考えの順に右側のカッコ内にならべてください。

<ul style="list-style-type: none"> A. 教師の仕事の全般の理解 B. 教職に対する熱意や使命感・責任感 C. 授業実践に関する知識や技能 D. 児童・生徒理解および指導・支援に関する知識や技能 E. 学級経営・行事に関する知識や技能 F. 学校に関わる地域や保護者に関する知識や理解 G. 社会の中での自己の人間性や、他者とのかかわり等の人間関係能力 	<p>大学卒業時に最も必要である</p> <p>↓</p> <p>1 番目： ()</p> <p>2 番目： ()</p> <p>3 番目： ()</p> <p>4 番目： ()</p> <p>5 番目： ()</p> <p>6 番目： ()</p> <p>7 番目： ()</p> <p>↓</p> <p>大学卒業時にはあまり重要ではない</p>
--	--

Q 3. 今後、学校等での学生ボランティア活動を充実させるためには、募集や実施の方法など、どのような工夫をする必要があると考えられますか。大学、学生などに対する要望も含め、ご自由にお書きください。

1. 大学が、実施もしくは工夫すべきこと（大学に対する要望を含む）

2. 参加する学生が、実施もしくは工夫すべきこと（学生に対する要望を含む）

3. その他、実施もしくは工夫すべきこと（要望を含む）

Q 4. 学生ボランティア活動に対してご意見等がおありでしたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

【資料】 学生の「評価シート」構想①

【学校支援ボランティア 評価シート 7/31 】 名前 _____ 専修 _____

活動で気付いたことを、具体的に書いてみよう。 A 自分 B 仲間から (すべてを埋める必要はありません)

学校名・学年	先生方の態度やふるまい	先生方の知識・技能・方法	先生方と同僚(教員集団)	先生方と保護者(地域)
1. 教師の使命観・責任感 ※守るべきこと、しなければならないこと				
2. 社会性や対人関係 ※学校に限らず、教員・社会人として				
3. 子ども理解				
4. 学級経営				
5. 授業実践				

【資料】 学生の「評価シート」構想②

あなたが、取り組んだこと、心がけたこと、身につけたことを記入してください。

		教員の仕事			
		授業づくり	学級づくり	学校づくり	
関 わ る 人 た ち	子ども	教育内容 教育技術	子ども理 解	生徒指導	教師として の素養
	保護者			保護者と の連携	社会人とし ての素養
	地域の人		地域連携		
	同僚 管理職	授業研究		教師同士 の連携	

【資料】 学生の「評価シート」構想③

記述内容の評価については、
教職支援室の教員等に
「ここまでは身につけさせる」という
ルーブリック(キーワード?)を
作成してもらおう。

教員養成段階では書くことができない部分を
残すことで、今後の教職キャリア形成への
予見性を持たせる。

大学1年, 2年, 3年と記入させ
て、それをポートフォリオとして
4年時の教職実践演習での
ふりかえりに使うことも可能。

		教員の仕事		
		授業づくり	学級づくり	学校づくり
関 わ る 人 た ち	子ども	教育内容 教育技術	子ども理解	生徒指導
	保護者			保護者との連携
	地域の人		地域連携	
	同僚 管理職	授業研究		教師同士の連携

大学卒業時に身につける力の範囲 (教員養成スタンダード)

教職初期に身につける力の範囲 (教職初期スタンダード)

【資料】 学生の「評価シート」実施版

___月 ~ ___月 ①観察・実践したこと, ②学んだこと・身につけたこと, ③これからすべきこと

		教員の仕事		
		生徒指導・学級	授業	学校全体・行事 その他
関 わ る 人 た ち	年 組			
	子ども			
	特別な支援 を要する 子ども			
	教職員			
	保護者 地域の人			
	③これから すべきこと	【長いスパン】	【すぐに】	